

Company Profile

会社名 株式会社日本遮蔽技研 (ニッポンシャヘイギケン)

所在地 本社〒969-1113 福島県本宮市本宮字坊屋敷276番地

電話番号 0243-24-9355

代表者 代表取締役社長 平山 泉

資本金 4,050万円 (資本準備金:1,750万円)

設立 2010年3月4日 (創業 2011年8月3日)

グループ Genki Group <https://genki-group.jp/>

事業内容 ● 放射線遮へい・測定の特許技術サービス提供
● 画像認識AIを活用した保安製品・サービス提供
● 光応用技術 (レーザー) 製品・サービス提供

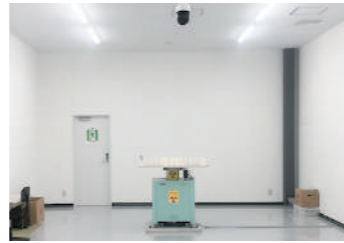
許認可 ● 放射性同位元素等使用許可 (原子力規制委員会 第7117)
● 古物商許可 自動車商 (福島県公安委員会 第251300000381号)
● ISO/IEC 17025:2017 認定98357 PJLA
● 電気通信事業者届出番号I-07-01127

福島校正センター

第1照射室



第2照射室



レーザー放射性物質
除去システム



販売元

住み続けられるふる里 安全安心なまちづくり

株式会社
日本遮蔽技研



公式ホームページ



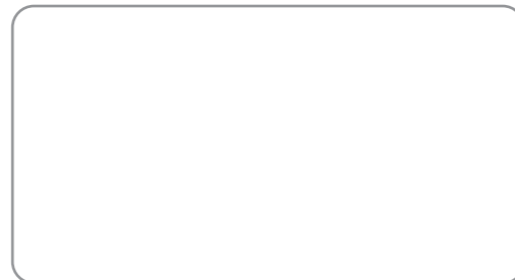
公式YouTube

〒969-1113
福島県本宮市本宮字坊屋敷276番地 TEL 0243-24-9355 FAX 0243-24-9354

株式会社日本遮蔽技研は
持続可能な開発目標 (SDGs) を支援しています。



■特約店



Crisis Management Service Series

危機管理サービスシリーズ



獣害早期警戒サービス
あいわな®クラウド

無人警戒システム
VIGILA®

警備会社発報機連携システム
VIGILA®-Link

通信機能付磁気センサー監視デバイス
VIGILA®-MAGNES

威嚇警報機
GROXA®-T

AI内蔵威嚇警報機
GROXA®-A

鳥害対策用AI搭載レーザー装置
AVIXEL

株式会社 日本遮蔽技研

人口が減少する社会で目視による保安を AIに移行する“危機管理ソリューション”

獣害早期警戒サービス あいわな®クラウド

クラウド型

コードレスカメラが撮影した映像を、クラウド上の画像認識AIが解析し、イノシシやクマなどの害獣を即座に特定。出没情報をリアルタイムで関係者に周知するので、効率的な害獣の早期発見や獣害防止策を実現します。

あいわな®クラウドは2019年ロボット・航空宇宙フェスタで公開し、2022年こおりやま産業博アワードグランプリを受賞しました。

POINT

- コードレスカメラと、画像認識AIサーバーの解析で迅速な対応と労力の削減を実現。
- 福島県内外の自治体で導入実績あり。
- 農林水産省獣害対策用IoT機器に登録済み。



AI内蔵威嚇警報機 GROXA®-A 会津大学共同研究機

スタンドアロン型

クラウド型のGROXA®-Tに対し、機器本体に画像認識AIを内蔵したスタンドアロン型のAI内蔵威嚇警報機。自己完結型でピンポイントでの設置が可能です。

POINT

- エッジAI
機器本体に画像認識AIが内蔵されています。
- 多様な威嚇警報機能
音・光を組み合わせた効果的な威嚇が可能です。
- スタンドアロン対応
ソーラー発電とバッテリーで駆動、通信はLTE。
- イニシャルコストなし
サブスクリプション・レンタルで利用できるので“初期費用0円”です。



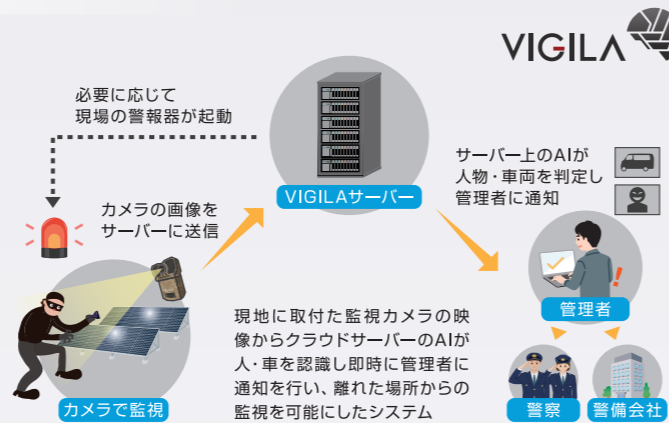
無人警戒システム VIGILA®

ヴィジラクラウド型

コードレスカメラとクラウドAIによる自動監視システムです。人や車両の画像をAIが識別し、リアルタイムで管理者へ通知。不法侵入・盗難・不法投棄のリアルタイム遠隔監視を実現します。

POINT

- コードレスカメラからの画像をサーバー上のAIで分析することにより、電源が確保しにくい場所でも確実に監視。
- 太陽光発電施設や農場など様々な施設に適用できる設計。
- 大手警備会社との連携により駆けつけ警備にも対応。施設に適用できる設計。



威嚇警報機 GROXA®-T メガソーラーで使用実績あり

ヴィジラクラウド型

カメラから送られた画像をVIGILA®サーバーでAIヒト認識。高輝度LEDの点滅と大音量のサイレンや音声を自動発報。ターゲットを萎縮・撃退します。

POINT

- 広範囲の敷地をカバー
複数のカメラに対して1台という運用ができます。
- 動作時間や音量も設定可能
威嚇機の動作時間や音量、自動・手動稼働は自由に設定可能。
- 停電対応
通常はAC電源稼働。ソーラー発電とバッテリーで3日間稼働します。



警備会社発報機連携システム VIGILA®-Link

ヴィジラクラウド型

コードレスカメラとクラウドAIによる自動監視システムVIGILA®によるアラートを、大手警備会社の既存発報機に系統連携できます。検知後の駆けつけ警備を実現します。

POINT

- VIGILA®サーバーからの信号を受信。
- 太陽光発電施設に適用できる設計。
- 大手警備会社による駆けつけ警備を実現します。



通信機能付磁気センサー監視デバイス VIGILA®-MAGNES

ヴィジラクラウド型

盗難や破壊等で現物に取り付けた、マクセルフロンティア社製デバイスのマグネットが外れると、VIGILAサーバーに信号が送られニーズにあわせた設定で、即時に管理者に通知。サーバーに設置目的を登録しておけば「電線が移動」「門が開けられた」など、詳細な情報が届きます。



鳥害対策用レーザー装置 AVIXEL (アビクセル)

スタンドアロン型

- AI認識技術
AIが鳥類を自動的に認識し、レーザーで効果的に追い払います。
- 高い忌避効果
牛舎での実証により、鳥類に対する優れた忌避効果を確認済み。
- 安全設計
鳥以外の生物は、レーザー照射軌道から除外します。
- 畜産分野への展開
鶏舎での鳥インフル、牛舎での感染対策に展開します。

